

**事業所名** グループホーム いやしの家富田町  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー  
B:現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
C:現職 元看護師  
資格・経験 看護師(35年)、介護支援専門員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穏やかで安らぎのある暮らしの実現のため、職員は入居者の生活のパートナーとなり、家族の一員として共に暮らしていけるように努めている。</li> <li>・入居者の要望・ニーズを把握し、入居者一人ひとりに合った生活リズムを大切にしながら、できるだけ今までの生活スタイルが続けられるように支援している。</li> <li>・入居者に「生き甲斐と潤い」のある生活を送ってもらうため、家族との連携も深めている。また、日々の介護や接遇についても研鑽を重ね、より高い質のケアサービスの提供を目指し、努力している。</li> <li>・入居者一人ひとりの表情や動作のサインを見逃さず、スキンシップ等入居者への関わり方に留意している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は入居者の非言語の訴えにも応じられるよう、入居者の気持ちを察し、入居者の「声なき声」を聞き取り、フラストレーションを取り除くように心がけている。</li> <li>・職員本位に時間を優先せず、日々その人らしい暮らしが送れるように支援している。</li> <li>・入居者が馴れ親しんだ言葉で話し、入居者が発する言葉をしっかりと受け止め、安心感を与えるように努力している。</li> <li>・入居者の希望を聞き、本人がやりたいと望む事や出来事を自由にしてもらえるように支援し、生き甲斐を感じてもらえるように取り組んでいる。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### 外部評価の結果

**講評**  
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・岡山市の中心部にあり、近くには公園やスーパー、公共施設や学校・幼稚園等もあり、生活しやすい環境である。
- ・医療機関とのしっかりとした連携があり、日常の検診・健康相談はもとより、緊急時には迅速に対応してもらえ、入居者は安心して生活できる。
- ・3ユニットのホームで、共用スペースの活用法や介護サービス等についてユニットそれぞれに特色がある。平素は独自の活動と生活介助を行っているや、常に連絡を取り合い、協力体制を整えている。
- ・入居者が癒しと潤いあるホーム生活を営めるよう、入居者本意の介護を心掛け、実践している。
- ・法人は独自のホームページをインターネット上に開設し、法人及びグループホームの方針等を幅広く情報提供している。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

- ・岡山市の中心地にあり、地域との連携強化は難しい課題と思うが、地域密着型サービスの趣旨に沿い、2ヶ月に1回、定期的に運営推進会議を開催し、地域との連携を深めていかれることを期待する。

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者個々の経歴・残存能力をよく理解し、本人のやりたいこと・出来ることを積極的に支援して意欲的に活動してもらえるように取り組んでいる。</li> <li>・居室にはノックをして許可を得てから入り、居室のドアの窓には蝶や鳥等の飾りをつけ、プライバシーを損なうことがないように配慮している。</li> <li>・個人記録はユニットごとに事務室の鍵の掛かる所で責任を持って管理し、個人情報が増えることがないように徹底して取り組んでいる。</li> <li>・入居者個人の顔写真、本人及び家族の了解のもとに掲示している。電話を使用するときは、コードレスの電話機を居室に持っていき等、入居者個人のプライバシーを尊重している。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の安全な生活と衛生管理には特に気を配り、ホーム長とは24時間いつでも連絡が取れるようにしている。主治医への連絡など、緊急時の体制を整えている。</li> <li>・グループホームのリーダーを対象とした勉強会を積極的に進め、研修内容は職員全員に伝達して共有し、介護サービスの向上に向けて努力している。</li> <li>・介護に関するあらゆる事故記録(インシデントレポート)には、発生日時・関係スタッフ・発見時点・発生場所・事故内容と細かく具体的に記入して事故原因を分析し、改善策を含めて再発防止に万全を期している。</li> </ul>		